

## Fahrrad Essen 参観報告

ドイツ国内ユーザー向け自転車展示会「Fahrrad Essen」が2009年2月27日(金)～3月1日(日)の3日間、エッセン見本市会場にて、旅行、キャンプ用品とキャンピングカーの展示会「REISE+CAMPING ESSEN」と併催形式で開催された。

### 【Fahrrad Essen】

主催： MESSE ESSEN GmbH

会場： MESSE ESSEN

会期： 2009年2月27日(金)～3月1日(日) 10:00～18:00

使用ホール： 自転車： ホール6,9 11,450 m<sup>2</sup>

※旅行：ホール10～12 10,800 m<sup>2</sup>、キャンプ：ホール1～3 30,200 m<sup>2</sup>

入場者数： 45,000人 (※REISE+CAMPING ESSEN 合計)

出展社数： 自転車：130社 ※旅行：36社、キャンプ：18社



メッセ会場正面



ホール9の様子 (BTR デモ)



ホール6の様子



コガ・ミヤタのEPAC

Fahrrad Essen はホール 6、9 の 2 ホール使用していたが、ホール 9 は催事コーナーやツーリング、サイクリングなどのインフォメーションブースが大半を占め、自転車業者の出展社はホール 6 に集中していた。自転車展の展示面積は展示物自体が大きいキャンピングカー部門より小さいが、出展社数は自転車が 130 社と最多であった。それらの多くは製造業者や貿易商社ではなく地元の販売業者であった。各店の取扱商品を自転車、部品・付属品及びサイクリング用衣料まで幅広く揃え、その場で販売も行う展示即売会の様相であった。各小間も間仕切り壁や華やかな装飾などない簡素なものが多かった。各小間は多くの商品で溢れ、特価の値札で更にディスカウントを強調するなどして集客を促し、また来場者側も商品選びに余念がない様子であった。

ドイツ国内ユーザーに向けてトレッキング車が展示の主体ではあったが、電動アシスト車も各ブースで見られた。旧モデル処分品であっても販売価格 1,000EURO (130,000 円) 前後と他車種と比べても高額であり、日本製の高品質バッテリー搭載を表示したシールを貼るなど、低価格ではなく品質を重視し高付加価値商品であることを消費者にアピールする努力も伺えた。



自転車店 LUCKY BIKE では、特価の表示をして集客を図っていた



ZEG ブランド、ペガサスは「Panasonic」を強調



ラレー（ダービーサイクル）の EPAC



カークホフ



ベルガモント



販売業者の各小間では展示即売が行われていた



エッセンは人口 58 万を数えるドイツ第 8 位の都市であり、周辺には州都デュッセルドルフ (同 9 位)、ドルトムント (同 7 位)、デュイスブルク (同 15 位) など人口 50 万前後の都市が集中しそれに比して自転車店舗数も他州地域より多い。そのような地でのユーザー向け展示会は消費地直結のものであるといえ、見本市会場もエッセン中央駅から地下鉄で僅か 10 分程度と交通利便性は良く今後の更なる発展に期待したい。

しかし、同展はあくまでも一般消費者向けの地域展示会であり、海外企業が出展参加する国際ビジネスショーとは言い難い。開催時期も春の需要期をにらんだ冬季であることから、日本企業にとって自社製品輸出促進の場として、昨年終焉した IFMA の代替としては現状では適していない。

次回は 2010 年 2 月 26 日～28 日の 3 日間、同会場にて開催予定である。

以上

(デュッセルドルフ事務所)